

リフォーム前



先祖から受け継がれた古民家を残すため、ここまでの工事（床・内装・畳・建具・天井）の解体は、施主様家族で行いました。



古い木材の良さと新しい住宅を融合させ新たな空間が出来ればと思いました。
吹き抜け部分と、立派な梁を上手く生かすことがリフォームの主役になると確信していました。

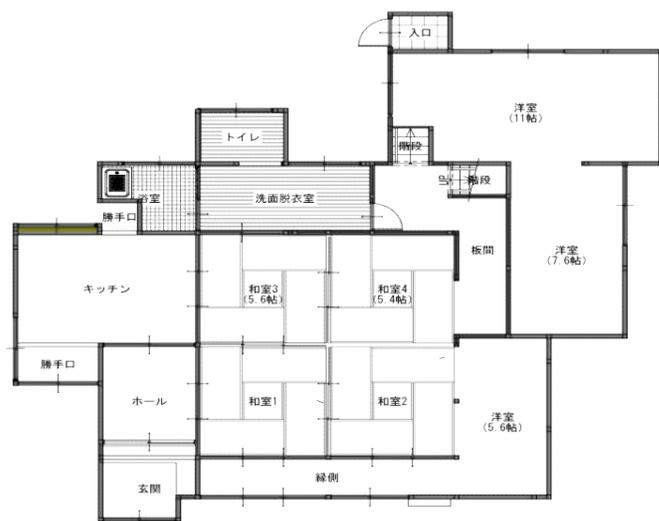
リフォーム後



外壁はモルタル塗り、聚楽塗装で仕上げました、梁を研磨し床のフローリングと違和感なく仕上げることができました。



リフォーム前平面図



設計施工のポイント（増改築等の工夫）

建物の不動沈下や倒れ、床調整等にジャッキを使い補強しました、古民家特有の礎石基礎補強の為、ジャッキで柱を浮かし（持上げ）既存の礎石面積の約2倍の広さのコンクリートで補強する事で地震時に柱がずれ落ちることのないようにしました。
断熱は屋根・外壁には、グラスウール、床はカネライトホーム45を敷き込んでいます。柱や梁を出来るだけ露出させる事で継手や仕口などあまり目にする事のない当時の大工さんの技術を来客された方々や見て伝えてもらう、ことが出来ると思いました。玄関からホール・洋間に向かう入口と勝手口からホール・キッチンへ向かう入口二か所を設け「ハレとケ」の考えが基本となる間取り、パブリック空間とプライベート空間になりました。現在の生活スタイルと古民家が持つ木の良さをバランスよく組み合わせることが出来と思います。

リフォーム後平面図



応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム内容
(株) 建築工房 Work・space	(株) 建築工房 Work・space 大城 孝一	(株) 建築工房 Work・space	100年	伝統工法	一戸建	2019年1月	110日間	1300万	内部改修・外部塗装・模様替え